

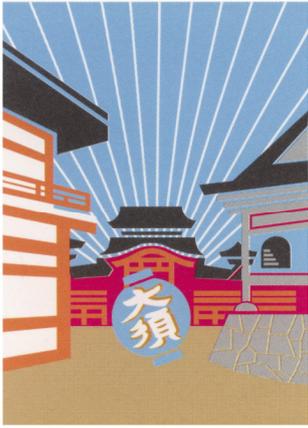


<本年度会長方針>

あらためてロータリーを考えよう No.1131

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 川畑博敬 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 田崎雅三 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



第1330回例会

新世代のための月間

平成23年9月1日(木)
於 名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 59名

51名中48名出席
出席率 94.12%
前及回出席率 92.00%

「ロータリーソング」

「君が代」「奉仕の理想」

指揮者 岡村 隆徳
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

故・新沼 操さんの奥様
新沼 節子さん

ニコボックス

台風が来ます。気を付けて下さい。

川畑 博敬・田崎 雅三
小笠原和俊

横井・岩崎・松本の三君の根性に敬意を表します。尾上 昇
富士はしんどかったです。でも今、体調上々です。近藤宏一郎
みなさんのご協力で全員登頂、無事下山できました。ありがとうございます。

前田 隆久
尾上さん、近藤さん、前田さん、ヒルウォーキングクラブありがとうございます。ありがとうございました。神野 邦利
富士登山、皆様ありがとうございました。横井 衛
尾上隊長、お疲れ様でした。鬼頭 茂成
尾上さん、前田さん、富士山では

お世話になりました。

春日井和良・渡辺 観永
私自身2回目の富士山登山でした。全員が小雨の中、完登しました。

伊藤 与則
鬼頭さん・春日井さん、心からお礼申し上げます。おかげで下山できました。岩崎 征一
富士山登頂成功しました。尾上さん近藤さん前田さんありがとうございます。

山口 正孝
お荷物隊の一員でした。みなさん有難うございました。富士登山成功。松本 哲朗
妻の誕生日です。富士山最高でした。丹下 富博
今月妻と孫(カンナ)の誕生日です。孫は特別かわいいです。

日比野富士男
誕生日です。杉本 英夫
9月2日は自分の誕生日です。林 富徳

会員増強推薦者ハッシー贈呈



岩崎征一さん
(林富徳さん紹介)へ川畑会長より「会員増強推薦者ハッシー」が手渡されました。

会葬の御礼

新沼 節子さん



富士登山報告

乾林・富士山、乾林・全員登頂

2011年夏富士山登山
ヒルウォーキング部
幹事 前田 隆久

名古屋から一番近く、頂上まで一番距離の短い、富士宮口登山道から富士山に登ってきました。
8月27日、金山総合駅に7時30分に集合、貸し切りバスで出発した時は、曇り空。高速道路も順調で、富士ICにはほぼ予定通り到着したのですが、林道に入ったあたりから空の様子がおかしくなり、富士宮口五合目についた頃には、本降りの雨になってしまいました。

最初から、雨具を着ての登山になってしまいました。本部班は5班に分かれ、梶川山行リーダーを先頭に、尾上団長をしんがりにして、現地で合流した川畑さんのご息をに加え、総勢32名の大パーティーで登山開始。

六合目に到着するまでに、すでに隊列は伸びて、当初の班編成が意味をなさなくなっていました。雨が、雨も上がり、一部青空も見える天気の中、それぞれのペースで今日の宿、九合目万年雪山荘をめざしました。登山道は、森林限界を過ぎていたため、樹木の無い荒涼とした礫の道をひたすら登ります。ところどころに咲く高山植物と、一回目ごとに建つ小屋が、なぐさめの山登りです。

最後尾は予定の5時間を大幅に遅れ、先頭から約1時間半遅れて

全員無事九合目に到着、最後尾が着いたころには、辺りはすっかり闇の中でした。

夕食後、小宴会、明日に備え早々と床に着いたので、慣れぬ山小屋で、なかなか寝付けない人もいた一夜でした。

翌28日は、天気も晴れて、全員で頂上を目指しました。富士山は火山ですので、頂上は噴火口跡を囲むようにぐるりといくつもの峰が連なっています。富士宮口登山道を登りきったところが、富士宮口頂上で、まず、そこを目指しました。そこから一等三角点のある剣ヶ峰を経て須走口下山口を目指



す班と、直接、須走口下山口を目指す班に分かれ、出発。須走口下山口からは、須走口五合目を目指して、一気に下山開始です。下山だから楽だと、思っていたら大間違い、富士山は甘くありませんでした。下山の方が、足にかかる負担は数倍で、ほとんどの人が、関節をやられます。下りも当然、隊列は乱れました。須走口五合目に到着したのも、先頭と、最後尾で2〜3時間差が開きました。先着組と後着組とそれぞれに、ビールで

無事下山を祝福し、その後御殿場IC経由で帰名、金山に着いたのは、9時近くでした。

とにかく、3776mという高山、32名という大パーティー、確率からいっても数人の落後者が出るのは覚悟の上でしたが、全員登頂が果たせ、全員無事下山が出来たのが、何よりの成果でした。

今回の、山行が大成功に終わったのも、参加して下さったロータリアンの皆様、そのご家族の皆様、そして、ゲストの皆様の頑張りのお陰だと思えます。その上で、確かな判断と指示を出して、全員を引っ張って下さった、尾上団長。記録写真をたくさん撮って下さった、ヒルウォーキング部近藤会長。会計、荷物担ぎにと動いて下さったヒルウォーキング部の皆さん。サポートに入ってく下さった、梶川さん、千葉さんの力があつては間違いありません。



富士山は、日本一であるところに意義がありますが、もっと楽に登れて、もっと景色を楽しめる素晴らしい山は、山国日本には、いたる所にあります。次の機会、また、全員で登頂し、全員でおいしいビールを飲みましょう。

*当日の発表は、ヒルウォーキング部顧問 尾上昇さんによる

卓話 (8月25日例会)

「事業継続計画(BCCP)」を使った実践リスク対策

〜東日本大震災をいまも東海地区の防災を考へる〜
太陽ASG有限責任監査法人
名古屋事務所マネージャー
国立 英治さん



去る3月の東日本大震災後、次に大きな地震が発生する確率が高いとされるのは、駿河湾沖を震源とする東海地震、あるいは東南海・南海と合わせた3連動地震です。今回のテーマ「事業継続計画(BCCP)」を使った実践リスク対策」では、①東日本大震災において企業は実際、どのような対応をされたのか。過去に私が防災対策、および事業継続計画策定をお手伝いした企業の実例を紹介いたします。それを踏まえて、②企業が備えるべき東海地震・3連動地震への対

策。そして対策の一つの「道具」とある、③事業継続計画(BCCP)とは何か。をみなさんに紹介いたします。

初めに宮城県南三陸町での被災状況の写真を紹介します。注目していただきたいのは海岸近辺での津波に遭われた家屋の被害状況と、そこから距離になると100〜200mしか離れていない津波から免れた家屋の状況です。津波を受けた家屋・建物はみなさんもご存じのとおり大きな被害が出ております。一方で津波を受けなかった地域では、地震による大きな揺れを受けたものの、多くの家屋・建物は大きな損壊を免れています。三陸沖に面したこちらの地域では約50年に1回の周期で大きな地震・津波に見舞われています。わが国では昭和56年の建築関連の規制が強化されたことを境に、揺れによる建物・家屋の耐震性が高められました。写真の建物も比較的新しい(築20年以内)家屋だったため、大きな損壊は免れています。これに対し、津波を受けた家屋・建物は大きな損壊を受けており、津波の脅威を改めて目にするということとなりました。この状況を受け、東海地区における防災対策も、津波に対する備えが十分であるか、見直しの必要性が専門家の間で指摘されています。

企業が備えるべき、いわゆるリスクは地震・津波だけではもちろんありません。しかし、約50年

の周期で地震・津波に遭い、ハード・ソフト両面で備えができていないと考えられている東北地区であっても、東日本大震災時の被災状況の大きかったことを受け、東海地区の地震・津波への備えが十分か、見直しの機運が高まっています。

企業があらかじめ防災の備えをつつておく「道具」の一つとして事業継続計画(BCCP)があります。これは「震災など、企業がビジネスを継続する上で大きな障害となる事態(脅威)」に備え、あらかじめ作成しておく計画「手順」です。このBCCP策定により備えをする目的、あるいはメリットは以下のようになります。

1. 緊急時における従業員の安全の確認・安全確保
2. 得意先へ大幅な納品遅延、顧客へのサービス提供中断による取引の減少、得意先・顧客喪失の回避
3. 事業活動の長期停止による企業存続の危機、従業員の雇用喪失の回避
4. 緊急事態の事前想定、準備、対策、従業員への周知・訓練による、緊急時のスムーズな対応復旧の実現

BCCPによる防災対策は、単に取引の早期復旧を目指すだけではありません。被災時に起こりうる様々な困難を想定して、まずは従業員の安全確認、安全確保を優先

させます。東日本大震災では職場で被災した多くの従業員が帰宅困難者となり、企業が従業員に対するバックアップ(安全な場所の確保、食糧・電力・連絡手段の確保等)を十分行っていた企業への社会的評価が高まったこと、社会全体での準備がまだ不足している点が課題として残りました。

BCCPは国(中小企業庁)、県も各企業が策定することをバックアップしています。中小企業庁のホームページ <http://www.usho.meti.go.jp/bcp/index.html> もしくは愛知県防災局のホームページ <http://www.w.pref.aichi.jp/0000007196.html> はぜひながたが掲載されており、無料でダウンロードできます。ぜひご参考になさってください。

BCCP策定を通じ、みなさまが地震・津波に対して十分な備えをされることを願っています。

9月15日(木)例会の案内

新世代卓話

「アジアの留学生を迎えて30年」

財団法人PHD協会

総理事代行 藤野達也さん

広報委員会

- 酒井 修・吉田 明夫
- 松永 裕子・小野 定男
- *本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。